

浅羽支所周辺地区

エントランス広場基本構想(案)



平成 21 年8月

袋 井 市

目 次

I 背景と目的

- 1 背景 P 1
- 2 目的 P 1
- 3 計画地の概要 P 2
- 4 現状と課題 P 3

II 整備条件

- 1 広場の位置づけ P 4
- 2 前提条件の整理 P 5

III 基本構想

- 1 基本理念 P 6
- 2 テーマ P 6
- 3 整備方針 P 6
- 4 施設規模 P 6
- 5 事業費 P 6
- 6 構成 P 7

I 背景と目的

1 背景

南部地域(旧浅羽町と笠原地区を対象とした範囲)は、浅羽支所周辺を都市拠点(以下、南部副次核)とし、地域文化や生活を主体とした多様な都市機能の集約化を促し、誰もが住みよい総合的なまちづくりを推進しています。

また、この整備に向け「都市再生整備計画浅羽支所周辺地区」を定め、約213ヘクタールを対象地に、平成19年度から23年度までの5年間で、総事業費約43億円、うち国費約18億円にまちづくり交付金を活用し、事業を実施することとしています。

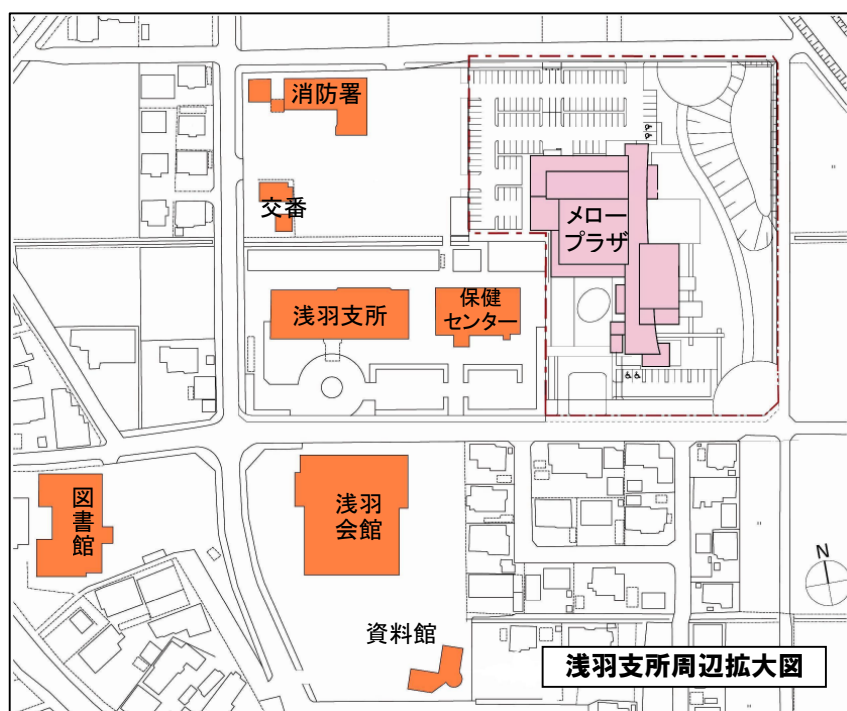
今後は、メロープラザの完成により取り壊すこととなる浅羽会館の跡地へ、南部副次核の玄関口となるエントランス広場(以下、本広場)を設けるなど、より整備を推進することとしています。

さらには、平成19年7月に、浅羽地区大野出身の近藤健次氏より、3億円もの多額な寄附をいただきましたことから、これを文化振興基金とし、地域文化を生かしたより良き南部地域の実現に向け、本広場とその周辺の修景整備に活用することとしました。

2 目的

本広場は、南部地域の顔となる象徴的な広場と、近藤基金を活用し地域固有の歴史や文化を生かした広場の2つの要素からなる整備を推進し、これによって、市民の郷土への誇りや愛着を深めるとともに、新たな地域文化を創出することを目的とします。

このため、これを実現できるよう、広場の整備に向けた基本的な考え方を基本構想に定めることとします。



3 計画地の概要

本市の将来都市構造は、ＪＲ袋井駅周辺地区を中心核とし、浅羽支所周辺地区、ＪＲ愛野駅周辺地区、上山梨地区に副次核を設け、多様な都市機能を充実するとともに、都市拠点を結ぶ連続的な基盤整備を推進するなど、バランスのとれた都市の発展をめざしています。

本広場の計画地は、南部副次核に位置し、都市計画マスタープランにおける地区別構想では中央南地区に属します。

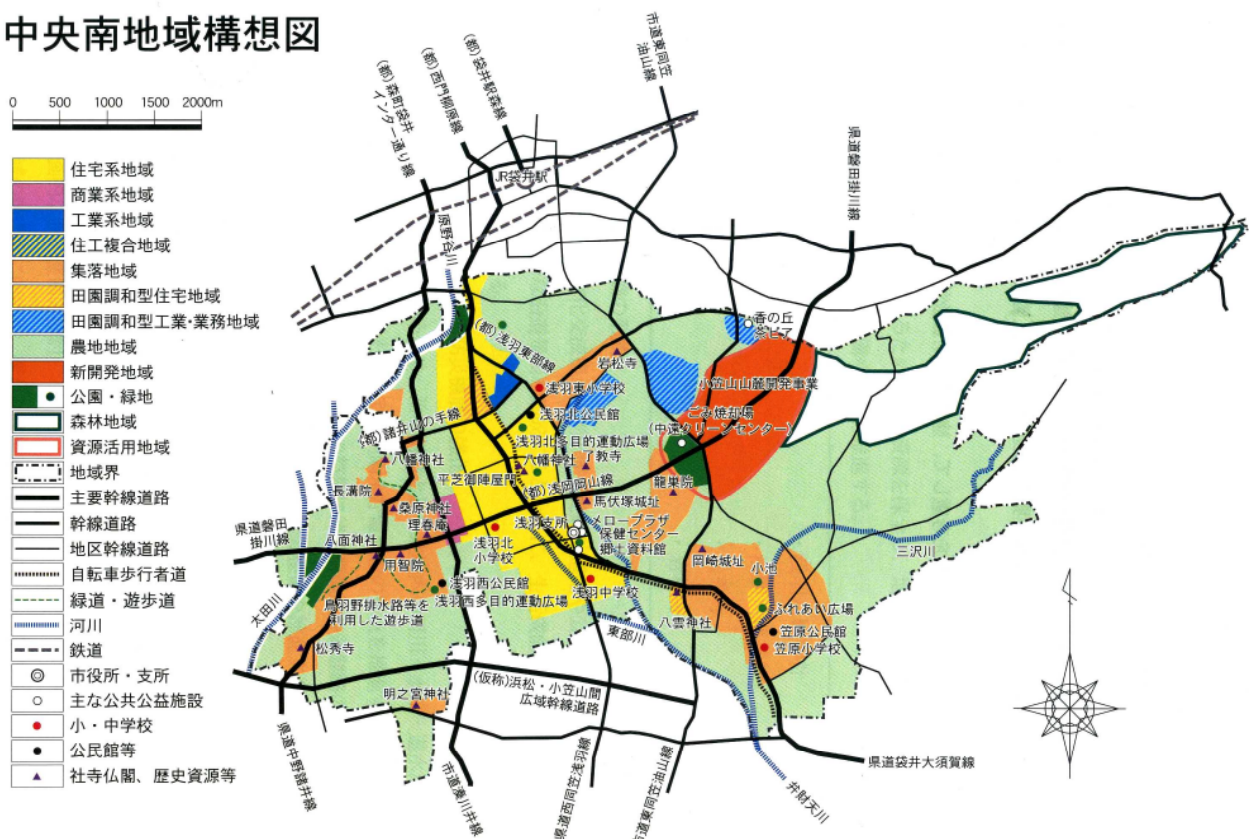
この地域は、浅羽支所(以下、支所)をはじめ、浅羽会館、浅羽保健センター、浅羽図書館(以下、図書館)、浅羽郷土資料館(以下、資料館)などの公共施設の集積が見られ、新たな南部地域の拠点となるメロープラザも平成22年度の開館に向けて整備を進めています。

また、北部の小笠山丘陵地に広がる茶園や南部の田園地帯、南北に流れる弁財天川などによって、豊かな自然環境がつけられています。

さらには、主要地方道袋井大須賀線や県道磐田掛川線、市道浅名篠ヶ谷線が通る南部交通の要所であり、平成21年7月には県道磐田掛川線の五十岡・岡山区間が開通し、東西の道路交通の円滑化が図られました。

今後は、現在進めているＪＲ袋井駅南整備事業により南北の道路交通の充実や南部地域の人の流れに大きく影響するものと思われ、健康文化を介した交流拠点としての発展が期待されます。

中央南地域構想図



4 現状と課題

(1) 新たな地域文化の創出

本地区が南部副次核として発展するためには、地域特性を生かしたまちづくりを住民とともに推進するとともに、この取り組みを市内外に発信していくことが重要です。

また、次代を担う子どもたちが、自分で考え行動できる確かな判断力と、豊かな想像力や感性を養うには、風土や伝統文化など地域の力を生かした人づくりに取り組まねばなりません。

このため、メロープラザを中心に地域文化の創造に向けた活動を展開するとともに、幅広い世代との出会いや交流の機会を促進し、さらには、こうした活動によって得た人的ネットワークを生かし、まちの将来を担う人材の育成に努める必要があります。

(2) 快適で潤いのある都市環境の整備

誰もが安全で安心して暮らせる快適な社会基盤の整備や、自然や歴史、文化など地域固有の特徴を生かした、美しく魅力的な街並みの形成が求められています。

このため、地区内道路のあり方を日常生活の視点から見直すことや潤いを感じることができる公園や緑地、水辺などを整備し、良質な生活環境を創出することが必要です。

(3) 防災機能の充実

近年の気象状況は、短時間に集中的な大雨が降る傾向にあります。

本地区内を流れる弁財天川の流域は、流域の大半が標高2～3mの低地部で河川勾配が少なく、遠州灘の干満の影響を受けることで河川の排水状況が悪化することから、地区住民は水害に悩まされてきました。

このため、保水機能を持つ農地や里山の保全を始め、遊水池の整備や雨水宅内貯留など総合的な治水対策を必要としています。

(4) 地球環境の保全

地球温暖化やオゾン層の破壊など、その被害が地球規模に及ぶ環境問題が顕在化している今日、全ての市民が地球環境の保全に努めなくてはなりません。

このため、公共施設などを整備する場合は、太陽光や風力、水力など、地球環境にやさしいクリーンエネルギーを積極的に導入する必要があります。

(5) 地域コミュニティの再生

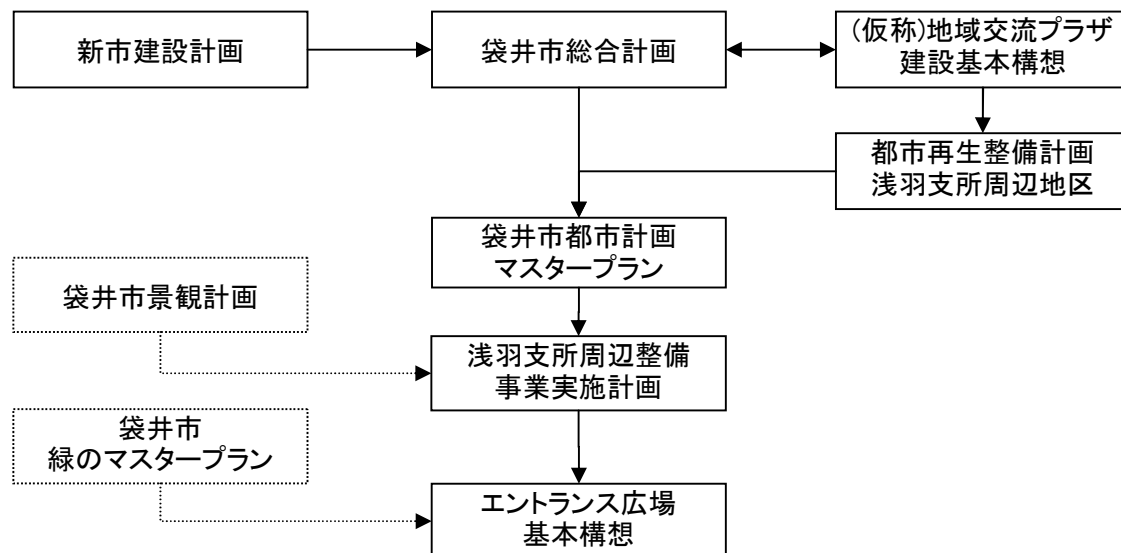
ライフスタイルや価値観が多様化する中、地域におけるコミュニティ意識の希薄化が進展していることから、地域にとって今こそ「自らのまちは自らが創る」というまちづくり意識の高揚と行動力が求められています。

このため、住民の潜在的なまちづくり意識を活性化させ、地域性に配慮した、持続的なまちづくりを推進することによって、自らが誇れるまちを築くことが必要です。

Ⅱ 整備条件

1 広場の位置づけ

(1) 上位計画との関係



本広場については、平成18年3月に策定した『(仮称)地域交流プラザ建設基本構想』において、浅羽会館の跡地を公園として整備することを位置づけました。

また、(仮称)地域交流プラザ設計プロポーザル時に設計者が提案したエントランス広場の提案をもとに、まちづくり交付金を充てた事業実施に向け、平成19年3月「都市再生整備計画浅羽支所周辺地区」を策定しました。

このことについては、平成19年1月に実施した浅羽支所周辺地区((仮称)地域交流プラザ)アンケート調査において、南部地域住民から70%以上の高い賛同を得ています。

さらには、平成21年6月に本広場を含む浅羽支所周辺の一体的な景観や環境づくりのためのランドデザインとなる「浅羽支所周辺整備事業実施計画」を策定し、市民参加・参画の下、次代につなげる持続的なまちづくりを展開することとしています。

(2) 公園等整備の現状

本市には、公園及びこれに類する施設が157か所あります。

うち都市公園法に基づく条例制定公園は72か所(街区公園50か所、近隣公園3か所、総合公園1か所、都市緑地14か所、緑道4か所)あります。

このほか、農村公園は13か所、寄附公園は72か所あり、ゲートボール場や運動広場などのコミュニティ施設は8か所あります。

2 前提条件の整理

(1) 南部地域の象徴(シンボル、顔)となる広場整備

本広場周辺は、南部副次核にあたることから、地域の玄関口として都市拠点に相応しい“まちの顔”としての整備が必要です。

また、周辺には公共施設が集約していることから、これらを機能的に連携させるしくみが重要です。

(2) 近藤健次氏の郷土愛を表現する広場

近藤氏がこれまで、郷土に深い愛情を絶え間なく注いで来られたことに思いを寄せ、氏の意向を踏まえた上で、地域の発展に資する広場として整備することが必要です。

(3) 近藤健次氏の顕彰

近藤健次氏は、これまで近藤文庫や多額の寄附など、郷土の発展のためにご貢献くださいました。

このため、本広場の整備と合わせ、氏を顕彰するための事業を実施することが必要です。

(4) 地区内における統一的な景観の確保

本広場を含む浅羽支所周辺地区の統一的な景観を確保するため、浅羽支所周辺整備事業実施計画に基づき、修景整備が必要です。

(5) 条例制定公園

本広場の整備については、国からのまちづくり交付金を事業費の一部に活用することとしており、この条件として本広場を条例制定公園とすることが必要です。

Ⅲ 基本構想

1 基本理念

本市は、市民の心と体の健康はもとより、地域と社会が温かく、都市と自然が調和するなど“誇り”と“喜び”を感じ、市民みんなが生活の向上と地域の発展を志向する日本一健康文化都市を目指しています。

また南部地域は、緑鮮やかな田園や茶園、白砂青松と言われる美しい海岸などの自然に囲まれ、人々は恵み豊かな大地を糧として農業を営み、多くの文化を築いて来ました。

こうしたことから、先人を讃えるとともに、新たな地域文化の創造に向けて“健康”と“農の文化”をテーマとした、南部地域の象徴となる広場づくりを推進します。

2 テーマ

“健康”と“農の文化”を掲げ、南部地域の歴史、景観など地域固有の特徴を加味し、さらなる発展に向け取り組むこととします。

3 整備方針

コンセプト	内 容
(1)地 域 文 化	・ 健康と農をテーマに南部地域を表現した広場 ・ 近藤健次氏の郷土愛を次代に継承する広場 ・ 南部地域住民の郷土愛を深め育む広場
(2)安全・安心	・ 治水対策として調整機能を有する広場 ・ ユニバーサルデザインに配慮した広場 ・ 地震災害時における避難場所としての広場 ・ 環境に配慮した人と自然にやさしい広場
(3)潤い・交流	・ 自然や周辺公共施設と風景的に調和した広場 ・ 子どもから大人まで地域の人々が集いふれあう広場 ・ 南部地域を市内外に発信することができる広場

4 施設規模

約 7, 6 0 0 m² （プロムナードは除く）

5 事業費

事業費につきましては、(仮称)近藤記念館や広場をはじめ、郷土資料館との一体性の確保、施設間における動線となるプロムナードなどの整備事業、さらには近藤氏顕彰事業などを含め、概ね4億円とします。

また、施設整備に伴い必要となるソフト事業費などについても検討します。

内訳：(仮称)近藤記念館＝100,000千円 広場・プロムナード＝300,000千円

6 構成

本広場を構成するために不可欠な施設要素を掲げるとともに、コンセプトや整備方針との関連性を整理します。

(1) (仮称)近藤記念館(顕彰事業)

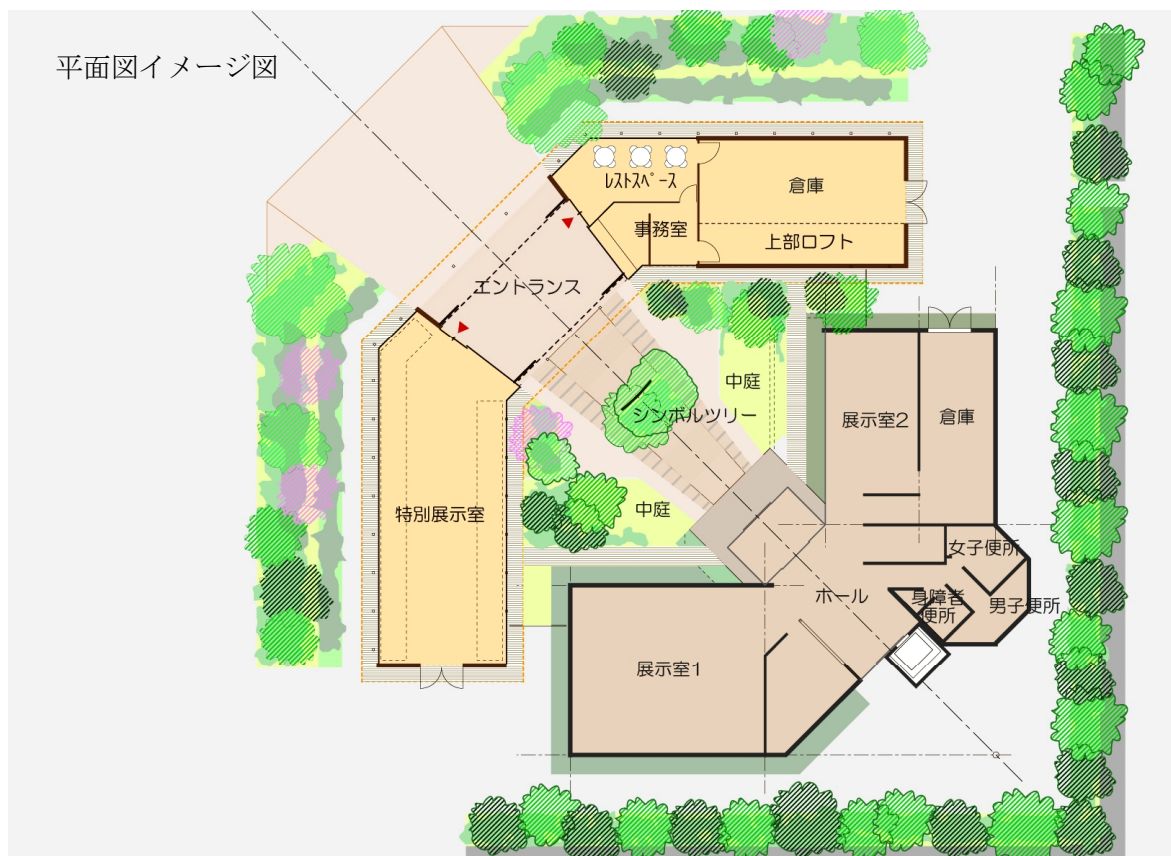
大野地区出身の近藤健次氏は、郷土を深く愛し、近藤文庫やこのたびの多額のご寄附など、様々なご支援をくださいました。

この郷土発展に貢献くださいましたことに感謝の意を込め、氏を顕彰するための(仮称)近藤記念館(以下、記念館)を整備します。

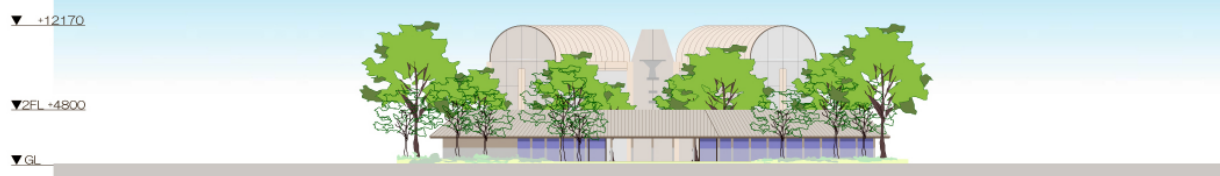
この記念館は、浅羽郷土資料館(以下、資料館)の前面に配置し、資料館と一体的に利用できるよう整備します。

また、記念館を活用し、展示室では郷土の発展につくした人々を紹介したり、広場と合わせて軽便鉄道の歴史を振り返ったりと、様々な企画展を開催することによって新たなにぎわいや交流の機会を創出することができるよう取り組みます。

また、資料館を含め、地区内の全体景観との調和を促します。



立面図イメージ



立面図 S=1:300

(2) (仮称) 軽便鉄道メモリアルパーク

この地には、かつて日本一長い軽便鉄道「駿遠線」が運行されていました。

軽便鉄道は、市民の足として、また地域の基幹産業である農業を支えた物流の要として大いに利用され、当時の生活と密接な関わりを持っていました。

廃止となってから42年が経過した今日でも駿遠線を懐かしむ人は多く、軽便鉄道の歴史を保存・継承しようとする動きは全国で見られます。

また、旧浅羽町時代に整備した軌道跡を活用した「軽便ウオーク」は毎年盛況で、市内外から多くの方が訪れています。

この価値ある地域資源を生かし、南部地域の歴史や文化に、歩き・見・ふれあうことができるまちづくりを地域とともに推進します。



軽便メモリアルパークイメージ図(昼間)



軽便メモリアルパークイメージ図(夜間)

(3) エントランス

本広場は、南部地域の玄関口にあたり、メロープラザや(仮称)近藤記念館、軽便鉄道メモリアルパークなどの新設により、ますます南部地域の象徴としての意味合いがますますとなります。

このため、本地区へのアプローチとなる市道浅名篠ヶ谷線と市道浅名五十岡線の交差点付近をエントランスとして整備し、南部地域における新たな都市空間へ人々を迎え入れることができるよう整備します。

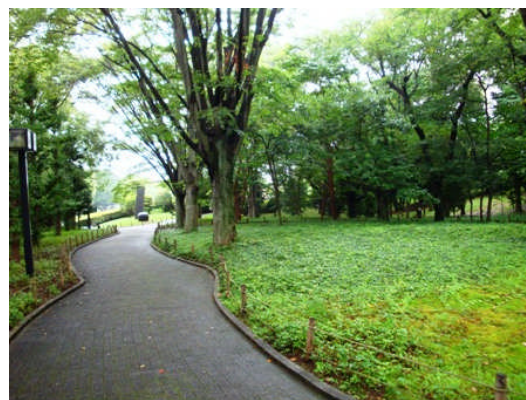


(4) 駐車場

本広場や資料館などの駐車場として、広場と一体的な景観となるよう整備します。また、治水対策の一環として、雨水貯留施設としての機能も加味します。

(5) 園路

軽便鉄道を想起させるよう、園路は線路に見立て、所々に駅舎風の四阿(あずまや)を設けたり、丘や小川を表現したりして、市民のみなさんに散策する楽しみを見出していただけよう整備します。



静岡県立美術館

(6) プロムナード

本広場とメロープラザや支所などの周辺公共施設をつなぐための動線を確認することによって人の流れをつくり出し、南部副次核全体をにぎわいの空間とします。



(7) 植栽

メロープラザの植栽と合わせて樹種を選定することによって統一的な景観を醸し出します。

また、シンボルツリーを効果的に配置することによって、緑豊かな地域を印象づける工夫を施します。

さらには、子どもからお年寄りまで、四季の香りや風、彩りを感じることが出来る森づくりを目指します。



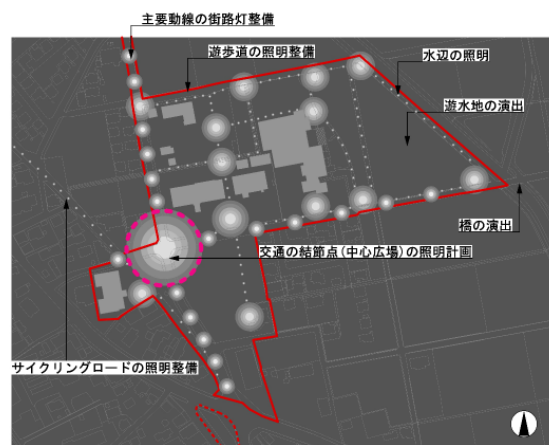
静岡県立美術館

(8) 照明

防犯機能はもとより、黄昏時から夜にかけて、遠景、中景、近景からの風景を美しく浮かび上がらせる照明計画とします。

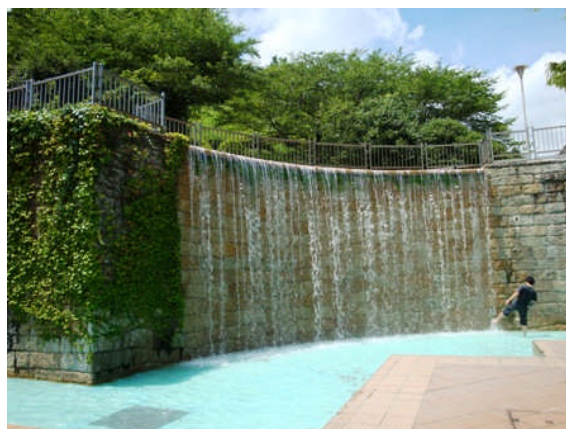
また、広場については、銀河鉄道の線路を思わせる光の川の演出を施します。

また、省エネルギーかつ新エネルギーを活用した機種を選択するよう配慮します。



(9) 親水

軽便メモリアルパークのデザインコンセプトのもと、自然や四季を体感できたり、子どもが水遊びできたりする親水空間を設けます。



藤枝市立蓮花寺池公園